

A 2021/9/12(日) 9:50-12:50

## 難治がんに対する免疫療法～患者さん自身の免疫能を高めるために～

### 講座情報

近年、がんの治療において、免疫チェックポイント阻害療法などの免疫療法が脚光を浴びており、肺がんを含む多くのがんにおいて、免疫療法が標準治療に組み込まれている。しかし、膵がんなどいまだに免疫療法が効きにくいがんも存在する。また、難治性造血器疾患である多発性骨髄腫では免疫チェックポイント阻害薬単剤では効果が見られず臨床試験が中止された。

本講座では、最初にごがん免疫療法の現況について副作用を含めて解説し、続いて患者さんのがんに対する免疫能をさらに強化するための方策として、演者が取り組んでいる免疫賦活作用を持つ既存薬および新規薬剤の同定に関する知見について紹介する。

#### 《学習到達目標》

- ・がん治療において、免疫療法が標準治療に組み込まれており、特に免疫チェックポイント阻害薬と CAR-T 療法が保険診療として行われていることを理解する。
- ・免疫療法の効果はがんの種類、患者によって異なることを理解する。
- ・化学療法剤を初めとする薬剤により、免疫反応が変化する可能性があることを理解する。

### 講演者情報

松下 麻衣子

慶應義塾大学薬学部 病態生理学講座 准教授

#### プロフィール

- 1995年3月 慶應義塾大学医学部卒業
- 1995年4月 慶應義塾大学病院内科学教室入局
- 2000年3月 慶應義塾大学医学部博士課程修了(血液内科学)
- 2000年4月 慶應義塾大学医学部助教(血液内科学教室)
- 2001年4月 米国 Memorial Sloan-Kettering Cancer Center 研究員  
(Immunology Department)
- 2006年7月 慶應義塾大学助教(先端医科学研究所細胞情報部門)
- 2010年4月 慶應義塾大学薬学部専任講師
- 2015年4月 慶應義塾大学薬学部准教授